

シロタモギタケ(キシメジ科)

兵庫県：Bランク

Hypsizygus ulmarius (Bull.) Redhead

環境省：-

種の概要

傘は径3~10cmまたはそれ以上で柄の偏心で不整円形となることあり。丸山形→饅頭形→ほぼ扁平。縁部波打ち放射状切れ込む。表面湿潤で乳白色~帯褐クリーム色で周辺淡い。肉は傘部厚く白色で湿潤時半透明で暗色を示す。無味でやや粉臭あり。秋~晩秋にブナ科やニレ属などの広葉樹枯木、生立木より発生。



写真提供：中村 耕

国内分布

兵庫、他不明

県内分布

波賀町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
					○	○



特記事項

稀少。ニレ属などの枯木に発生する。近畿・中国地方では鳥取・兵庫のみ観察報告あり。分布の南限と思われる

保護上の留意点

発生地保全(ブナ帯)